

ヒノキの形状

葉は鱗片状で枝に密着し、枝全体としては扁平で、細かい枝も平面上に出ます。

葉裏の気孔帯が Y 字状になっているのが特徴です。



雄花は枝先に 1 つずつつき、2 ~ 3 mm と小さくて目立ちません。



雌花は球形で枝先につき、1 cm 程度の球果をつけます。



樹皮は褐色で、帯状に剥がれ、歴史的建造物の屋根葺き材料としても使用されています。

ヒノキは、耐久性があることから、建物の柱や土台などに使われ、色合い、木肌を生かす建築の化粧的な用途にも使われるなど、千年も前から建築材に用いられています。

特に木曽ヒノキは、木目が緻密で、色合い光沢ともに良く、製材した時の狂いが極めて少ないなど、ヒノキの中でも最も優れたヒノキとされています。

